

バス・ブースター・アンプ

NS Bass Booster

取扱説明書



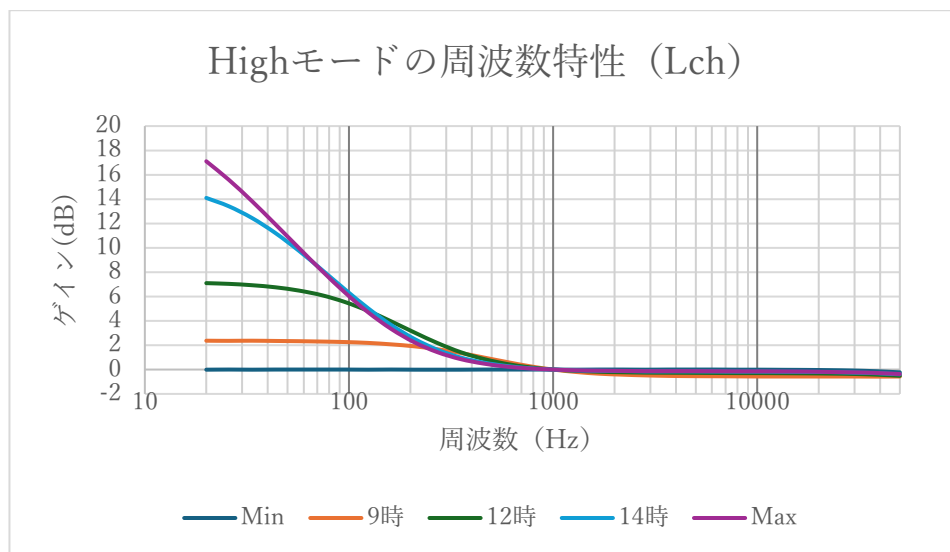
20260316

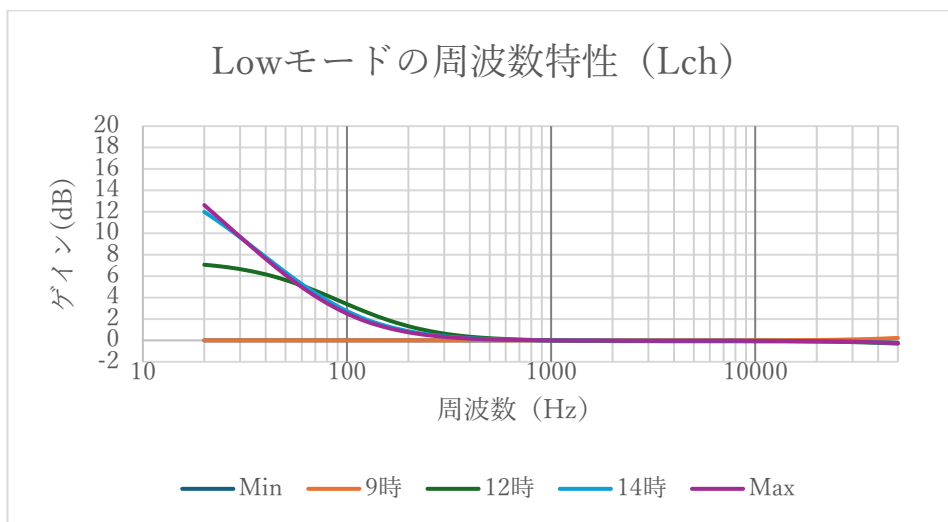
本機について

NS Bass Booster はラインレベルのオーディオ信号の低域成分をブースト（増強）して出力するバス・ブースター・アンプです。増強される低域以外のゲインは 0dB つまり「1 倍」です。

ブーストされる音域は、出荷時の「High モード」では約 200Hz から下です。内部のジャンパーで「Low モード」に切り替えると、約 100Hz から下がブーストされるようになります。お使いのオーディオシステムやお好みに応じて切り替えてください。低域ブースト以外は色づけない透明なアンプを目指しています。

本機は、Bass Boost つまみの設定位置に応じて、次のような周波数特性を持つアンプになります。





リミッターについて

低域を大きくブーストした場合、音楽の種類によっては非常に大出力になり、スピーカーを傷める恐れがあります。そこで本機では、信号レベルが設定値を超えるとリミッターが作動して信号レベルを制限するようになっています。

一般的なCDプレーヤーのラインレベルの最大出力は2V(rms)です。これはAC電圧の波高値では2.8V(p)になりますので、その2倍の5.6V(p)に近い値の5V(p)でリミッターが作動するように調整しました。

接続について

本機は、プリアンプとパワーアンプの間に挿入して使用することを想定していません。プリアンプが独立していない「プリメインアンプ」をお使いの場合は、CDプレーヤーとプリメインアンプの間に挿入しても効果を発揮します。



- ① 本機本体背面の DC 電源端子に、付属の AC アダプターの DC プラグを差し込みます。DC 電圧は 24V で、「センタープラス」タイプの AC アダプターを使用できます。プラグのサイズは外径 5.5mmΦ、内径 2.1mmΦ です。
- ② プリアンプまたは CD プレーヤー等の出力を、本機の「Line In」に接続します。
- ③ 本機の「Line Out」出力を、パワーアンプ等のラインレベルの入力端子に接続します。

使用上のヒント

【電源スイッチをオン/オフするタイミングについて】

パワーアンプの電源がオンになった状態で本機の電源スイッチをオンまたはオフにすると、大きなポップノイズが出ます。アンプ類の電源は次の順序でオン/オフすることをお勧めします：

電源をオンにする順序： (1)プリアンプ (2)ブースター (3)パワーアンプ

電源をオフにする順序： (1)パワーアンプ (2)ブースター (3)プリアンプ

プリアンプのサービス・コンセントを利用するなどして、パワーアンプと同時にブースターの電源をオン/オフできるようでしたら、それがベストです。

【ブーストつまみを回すとノイズが出る場合】

本機の電源をオンにし、音楽信号を流し始めてから 2 分間ほど経過する前にブーストつまみを回すと、ノイズが出ることがあります。パワーアンプのゲインが高い場合、かなり大きいノイズになります。その場合は、音楽信号を流しながら 2

分ほど待機した後、つまみを回すようにしてください。

【音が出ない場合】

◇ 本機をオーディオシステムに接続して初めて電源を入れた時、Boss Boost つまみの設定位置にかかわらず、最初は音が出ないことがあります。たいへん使いにくくて恐縮ですが、そのまま2分ほど音楽信号を流し続けると音が出ますので、しばらくお待ちください。

◇ それ以後も、本機のBoss Boost つまみを半分以上のレベル（12時より上）に設定した状態で本機の電源を入れると、最初は音が出ないことがあります。その場合は、10秒ほど待機すると、音が出てくることがあります。または、レベルつまみを10時くらいまで下げてから、少しずつレベルを上げていくと音が出るようになります。

【ブースト効果がないように感じる場合】

ブーストされる音域は200Hzより下ですので、コントラバスやティンパニなどの低音楽器の音が鳴った状態でないと、ブーストの効果を実感しづらいことがあります。コントラバスの音域は「約41Hzから約131Hz」、ティンパニの音域は「約65Hzから約220Hz」だそうです。

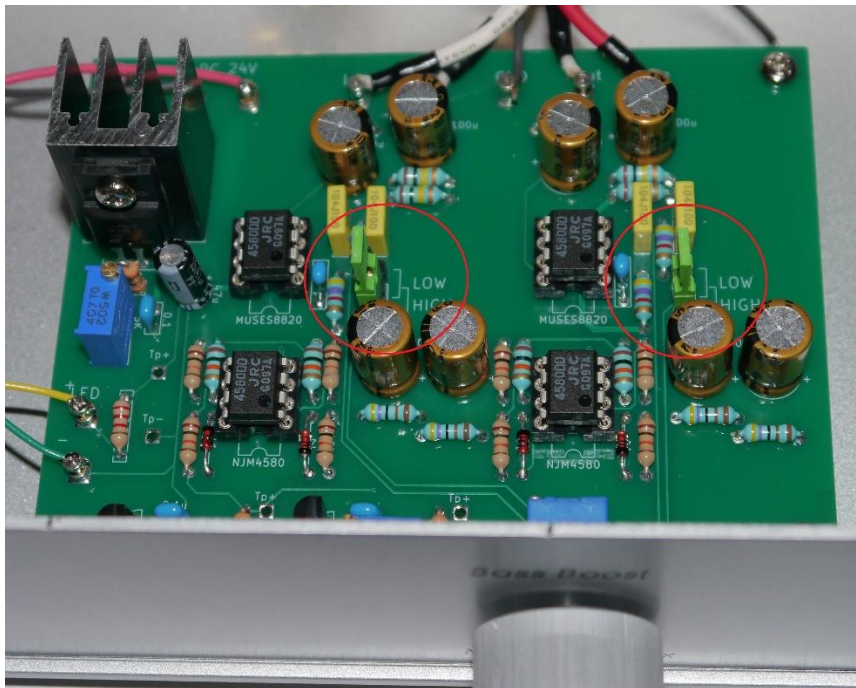
本機は、中音域に影響が出ないようにブースト範囲を低音寄りに設定しましたので、“華々しい効果”は感じられないかもしれません。しかし、聴き慣れてくると効果が感じられるようになるはずです。

High/Low モードの切換えについて

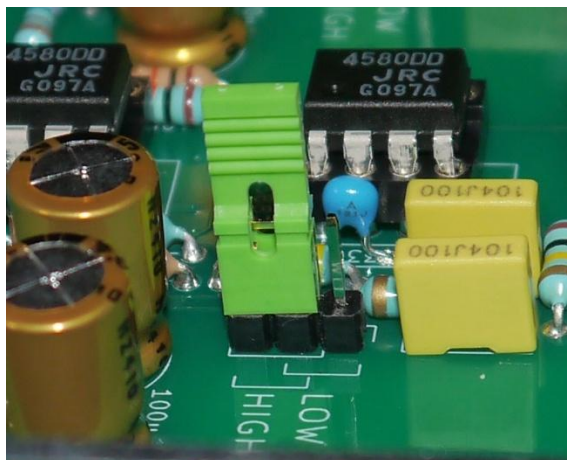
出荷時の「High」モードでは低域が強調されすぎるとお感じになる場合は、本機内部のジャンパーで「Low」モードに切り替えてみることをお勧めします。

本体側面に黒いネジが4つあるうちの上側の2つを外します（左右とも）。その後、本機の上カバーを持ち上げて、取り外してください。

内部の基板に、つまみの付いた緑色の「ジャンパー」が2つあります。下の写真の赤丸で囲った箇所です。



このジャンパーを上を持ち上げて抜き取り、基板に「Low」と印字されている位置に差し込みます。左右2つのジャンパーを同じ位置に設定してください。



パーツが小さくて分かりづらいかもしれませんが、3ピンのピンヘッダーのうち「Low」側の2つのピンをショートすると「Low」モードになります。

主な仕様

周波数特性 (Bass Boost レベル最小時) : 20Hz~100KHz (-1dB)

利得 (ブーストされる音域以外) : 0dB

残留ノイズ (JIS-A 補正) : 0.01mV

サイズ : 幅 17 × 奥行き 12 × 高さ 5.5cm (突起部を除く)

電源 : DC 24V (AC アダプター) (センタープラス・タイプ / 外径 5.5mmΦ / 内径 2.1mmΦ)

製造元・連絡先 :

〒247-0073

神奈川県 鎌倉市 植木 66-1 コープ鎌倉 513

Email: ns_kobo@nifty.com

NS工房 名取 俊忠